

令和4年度第2回和田区地域協議会 次 第

日時：令和4年5月18日（水）午後6時30分から

会場：ラーバンセンター 第4研修室

1 開 会

2 議題等の確認

3 報告

(1) 令和4年度地域活動支援事業について

(2) 地域自治推進プロジェクト及び令和4年度の地域協議会の取組等について

4 議題

(1) 自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」

5 事務連絡

6 閉 会

【今後の日程】

令和4年度第3回和田区地域協議会（臨時会）

5月31日（火）18：30～ ラーバンセンター 第4研修室

令和4年度地域活動支援事業の審査結果の報告

令和4年度第4回和田区地域協議会

6月15日（水）18：30～ ラーバンセンター 第4研修室

令和4年度 和田区 地域活動支援事業 提案一覧

No.	事業の名称	団体等の名称	新規提案団体	事業費等（単位：円）		事業内容の概要	優先採択項目
				事業費	補助希望額		
1	和田小学校区青少年育成・青年活動事業	和田ボンズ絆	○	484,950	464,000	年齢性別を超えた友情の輪を広げ、社会に貢献できる人材を育成し、また、スポーツを通じて地元の魅力を感じられるよう、地元に戻ってきてもらえるよう、野球チーム和田ボンズ絆においてユニフォーム等を購入し、練習、大会出場、地元小学校の除雪等を行う。	・住民自治・交流の促進 ・教育・文化・スポーツの振興
2	和田小学校創立150周年記念誌発行事業	和田小学校創立150周年記念事業実行委員会	○	1,103,050	1,102,000	新旧住民間の交流促進・連帯意識向上、まちづくりに対する連帯意識向上、後継者育成を目的に、地域住民等が和田小学校の思い出を寄稿する参加型記念誌を発行するとともに、全戸配布等を行う。	・住民自治・交流の促進 ・教育・文化・スポーツの振興
3	「上人塚」の保存と活用事業	石沢町内会		1,279,580	1,279,000	地域住民が地元の歴史を知り、愛着を持つことで地域の一体感が醸成され、地域を活性化することを目的に、「上人塚」を保存し、いわれの看板を設置するとともに、「上人塚から見る中世の石沢のすがた」をテーマにした講演会を開催する。	・住民自治・交流の促進 ・教育・文化・スポーツの振興
4	子供達の安全と健全育成事業	大和二丁目町内会		659,890	659,000	子供達が安全・安心に遊べる環境づくりを推進し、健全育成を図ることを目的に、遊び場の環境整備を行うとともに、下校時のパトロール、遊具の安全管理等を行う。	・安全・安心対策
5	上越妙高駅かいわいでひな祭り事業	上越妙高駅と共に歩む会		203,250	203,000	上越妙高駅及び駅周辺に賑わいを創出することを目的に、令和5年2月中旬から3月中旬にかけて、上越妙高駅及び駅周辺において雛人形や吊るし飾りを展示する。	・新幹線開業に伴うまちづくり ・住民自治・交流の促進
6	今泉城跡の大ケヤキ保護活用事業	上越妙高駅と共に歩む会		417,580	417,000	上越妙高駅周辺の賑わい創出の一環として、駅周辺地域の歴史的文化的資産を保護・活用することを目的に、今泉城跡の大ケヤキの環境整備、美化活動及び情報発信活動を行う。	・新幹線開業に伴うまちづくり ・環境（自然・生活）の保全・活用 ・住民自治・交流の促進 ・教育・文化・スポーツの振興

No.	事業の名称	団体等の名称	新規提案団体	事業費等（単位：円）		事業内容の概要	優先採択項目
				事業費	補助希望額		
7	上越妙高駅賑わいづくり環境整備事業	上越妙高駅と共に歩む会		162,100	162,000	上越妙高駅及び駅周辺の賑わいの創出、上越地域の観光情報の発信や知名度アップを図るため、駅自由通路等に地域のおもてなしの心や魅力情報を発信する内容ののぼり旗を設置する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線開業に伴うまちづくり ・住民自治・交流の促進
8	公園の環境整備と生活の安全・安心づくり事業	島田下新田町内会	○	498,209	495,000	コミュニティ活動の活性化や子ども達の安全を確保するため、公園における遊具の更新、環境美化活動を行うとともに、生活の安全・安心づくりに関する学習会を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・住民自治・交流の促進 ・安全・安心対策
9	石沢地区および稲荷地区の古文書（更正図）の保存と活用事業	大和郷土研究会		201,922	200,000	和田地区全体の歴史の掘り起こしに繋げ、地域に誇りを持ち、大切にしている地域愛を醸成するため、石沢・稲荷地区で発見された明治20年代の更正図を保存するとともに、成果発表を含む公開講座等を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・住民自治・交流の促進 ・教育・文化・スポーツの振興
10	住民参加による駅周辺の景観向上事業	上越妙高ウェルモ会		56,384	56,000	上越妙高駅周辺に彩りと活気をもたらし、上越市の玄関口としての地域への地域住民の愛着を育むことを目的に、子ども達を含む地域住民を対象とした花のプランターづくり、竹灯籠づくりのワークショップを開催し、成果品を駅周辺店舗に設置する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線開業に伴うまちづくり ・住民自治・交流の促進 ・教育・文化・スポーツの振興
11	上越市認定 地域の宝「荒町観音堂」保存と継承、発信の事業	大和三丁目町内会		315,100	304,000	町内に誇りを持ち、大切にしている一体感の醸成と町内活性化に寄与するため、地域の宝「荒町観音堂」の由来や歴史を記した看板や誘導案内版を設置するとともに、「観音堂だけでなく大和三丁目歴史遺産」記念講演会を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境（自然・生活）の保全・活用 ・住民自治・交流の促進 ・教育・文化・スポーツの振興
合計			3	5,382,015	5,341,000		

補助金予算 6,200,000

予算残 859,000

地域自治推進プロジェクト及び令和4年度の地域協議会の取組等について

◎ 令和4年度に地域協議会による取り組みをお願いする事項

地域の活力向上を目指して、次の2点をお願いします。

- ① 「地域を元気にするために必要な提案事業（元気事業）の提案」や「意見書の提出」、「地域内での課題解決」に向けて、自主的審議による議論を進めていただく。
- ② 「地域活性化の方向性の作成」に着手いただく。

1 市長公約プロジェクト「地域自治推進プロジェクト」について（説明事項）

- ・ 地域自治推進プロジェクトの概要 資料1

2 令和4年度に地域協議会から取り組んでいただきたい事項（お願い事項）

- ① 取組の進め方 資料2
- ② 自主的審議について 資料3、4、5
- ③ 「地域活性化の方向性」の作成 資料6

配布資料

- ・ 資料1 公約プロジェクト1 地域自治推進プロジェクト
- ・ 資料2 【令和4年度】地域協議会から取り組んでいただきたい事項
- ・ 資料3 令和4年度の自主的審議の流れ
- ・ 資料4 「地域を元気にするために必要な提案事業（元気事業）」の手順例
- ・ 資料5 平成30年度頸城区地域協議会から提案のあった事業提案書（写し）
- ・ 資料6 各地域協議会による「地域活性化の方向性」の作成について

・地域のことは地域で決めて、地域で実行する地域自治の仕組みの強化を目指す。

《現状に対する課題認識》

・「住民同士の支え合い」や「活気を生み出す」ような自治区単位での自主的な活動がなかなか広がらない

その要因 ⇒ 活動を企画・実行する人材の確保が困難
⇒ 地域自治区制度の下で、地域の課題を拾い上げ、地域や市に対して解決策の提案まで到達する事例が限定的

《課題解決の方向性》

・地域と市が一緒になって話し合い、市内各所の多様な資源をいかしながら地域の活力を高めていく取組を実現



《検討の観点》

- ・どうやって「地域のことを地域で実行できる取組」を生み出していくか
- ・どうやって「地域の人材」を取り込むか
- ・どうやって「地域のニーズ」を把握していくか

《検討の展開順序》

- ・現状のまま推移した場合の課題の深掘り
- ・合併後20年を迎えようとする今、20年後の将来を見据えた「理想的な姿」の考察
- ・実現するためのロードマップの策定

※現状の運用も含め、しっかりと時間をかけた議論・検討

※制度を運用していくことを見据えた丁寧な制度設計と合意形成

《検討事項・論点例》

- ・地域自治の活動を活性化する予算
⇒【事業の検討・提案方法、評価方法】
- ・地域の活動団体 ⇒【公益的活動の充実】
- ・地域協議会 ⇒【役割の再整理】
- ・総合事務所、まちづくりセンター
⇒【地域との関わり方】
- ・区域 ⇒【設定の考え方の再整理】

《検討方法》

- ・総合事務所、まちづくりセンターを含む庁内での協議
- ・地域協議会や住民組織など活動団体へのヒアリングと協議
- ・他自治体の事例調査

《最終目標》

地域に住み続けることに誇りと愛着を持ち、市民生活の満足感の高揚や質の向上が図られる取組を生み出した状態

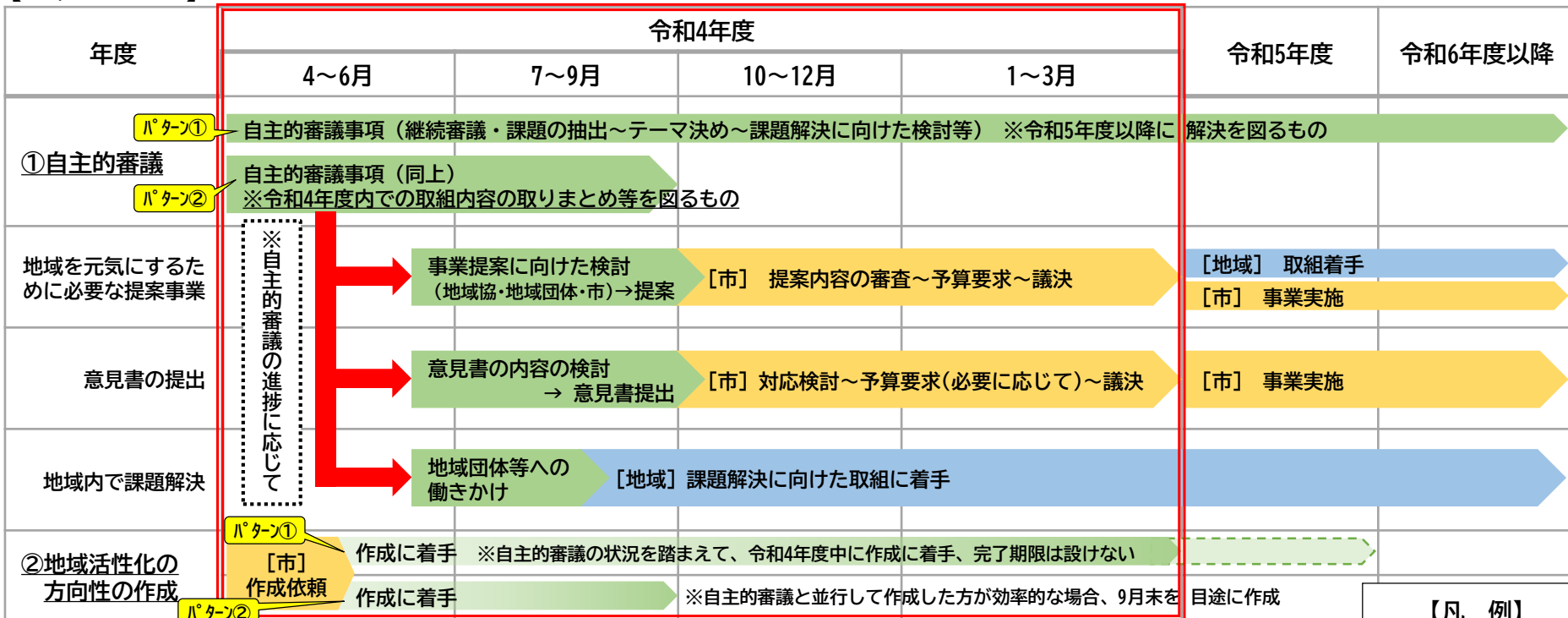
※スピード感の異なる検討課題に対しては、緊急性に応じて柔軟に対応

【令和4年度】地域協議会から取り組んでいただきたい事項

地域の活力向上を目指して、主に次の2点をお願いします。

- ① 「元気事業の提案」や「意見書の提出」、「地域内での課題解決」に向けて、自主的審議事項による議論を進めていただく。
- ② 「地域活性化の方向性の作成」に着手いただく。

【スケジュール】



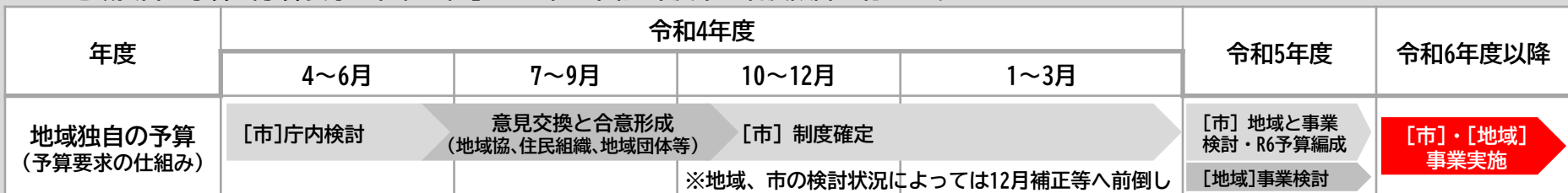
※その他、通年適時の事業として、諮問・答申や委員研修の実施、地域協議会だよりの発行等があります。

【凡例】

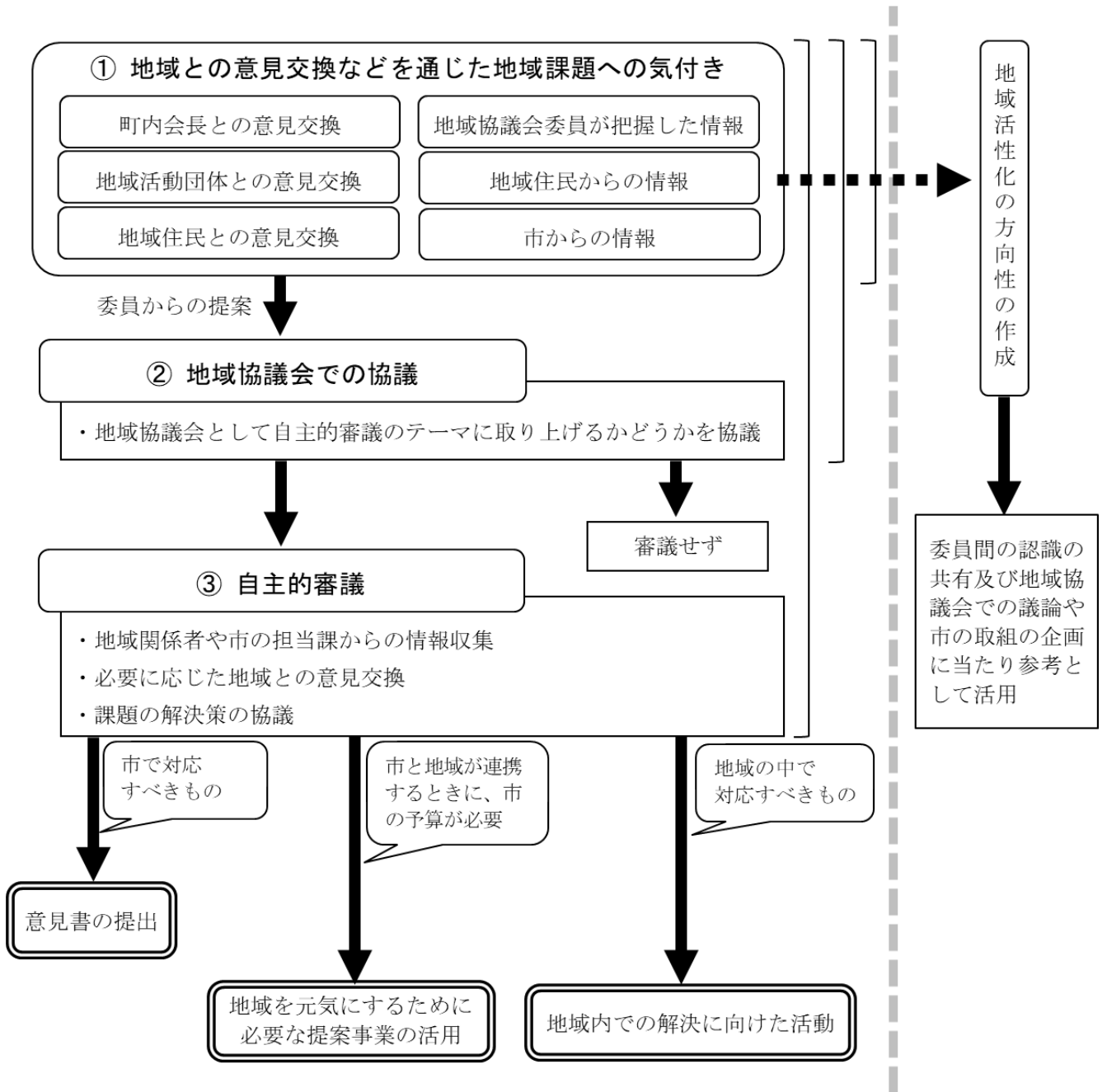
- 緑色矢印: 地域協議会
- 青色矢印: 地域団体等
- 黄色矢印: 市

【参考】市で取り組むこと

「地域独自の予算（予算要求の仕組み）」は、市が令和4年度中に制度設計を行います



令和4年度の自主的審議の流れ



「地域を元気にするために必要な提案事業（元気事業）」の手順例

自主的審議を進めた中で、地域団体等（取組を実施する団体）の参画により課題の解決を図ろうとした時、地域協議会だけではなく、市の協力も必要となる事柄（人材面、資金面、制度の運用面など）が想定される場合、「元気事業」の提案に向けた協議を開始する。

元気事業の条件、意見書との違い

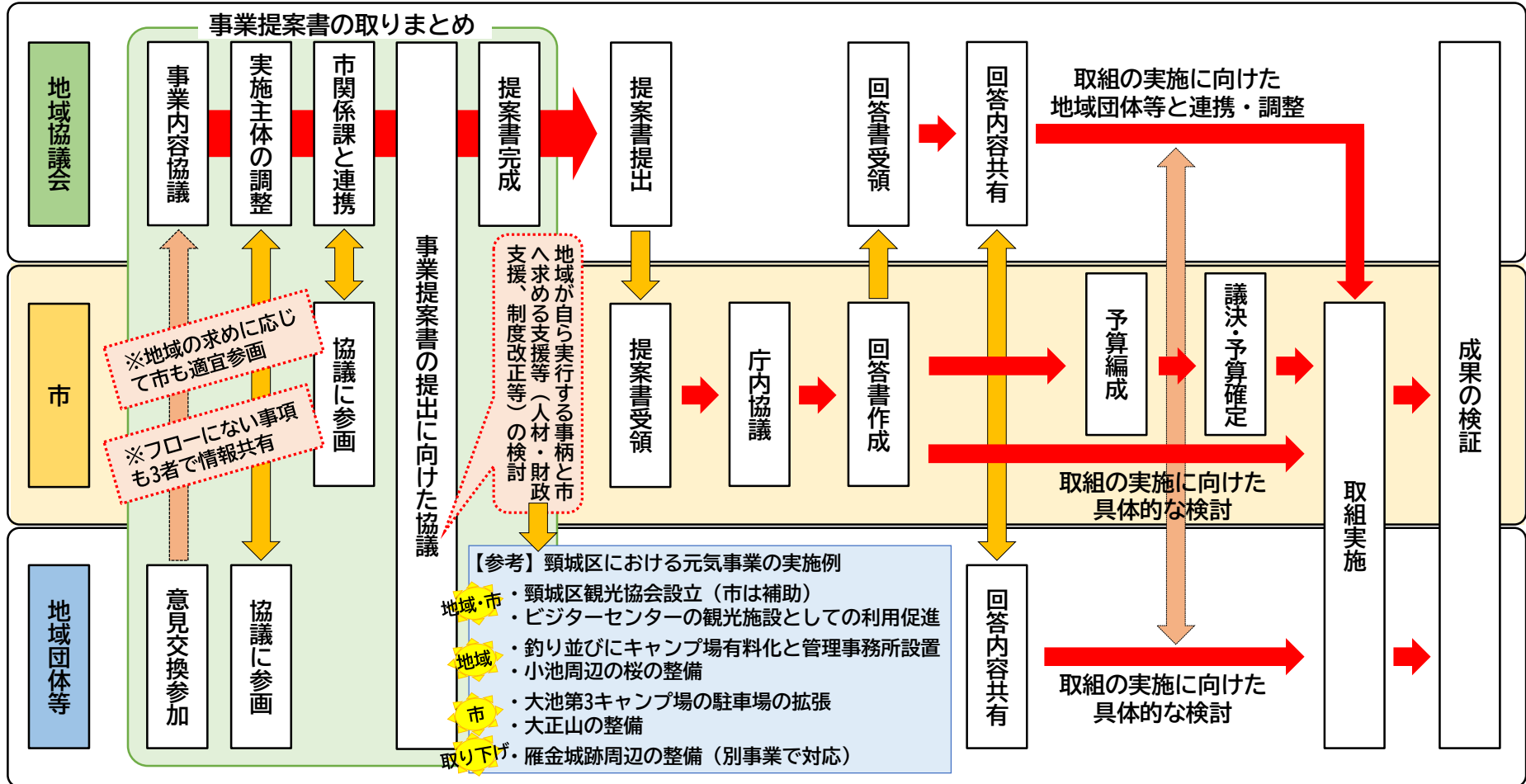
- ☆地域住民や地域団体等との意見交換を通じて把握した課題への対応であること → 協議会のみで検討された課題は原則対象外
- ☆地域団体等が主体的に取り組む事業であること → 市だけに事業を依頼するものは意見書
- ☆事業提案に向けた検討の段階から、市が協議に加わる → 市が加わることで、提案事業の実現性、実効性を高める

当年度>>>>

(9月目途)

翌年度以降>>>

事業提案書の取りまとめ





地域を元気にするために必要な提案事業
事業提案書

当地域協議会では、平成28年2月に頸城区総合事務所と共催をして、区内5か所で「地区別意見交換会」を開催してきました。この意見交換会は、各地域の抱える課題について相互理解を深め、課題を解決するために住民の皆さんと行政等が各々の立場でどう取り組むか、どう連携していくべきか等について、住民の皆さんと語り合い「地域課題への気づきの場」としてきたものであります。

意見交換会には、110名からの住民の皆さんの参加があり、70項目からの広範囲にわたる地域課題が意見として寄せられました。

これらの地域からの意見を受け、地域協議会では、当協議会内に設けてある「地域振興部会」「産業部会」「教育福祉部会」の3部会で協議を進め、自主的審議事項のテーマ設定に向けた絞り込みを進めてまいりました。

協議の結果、「地区別意見交換会」のいずれの会場でも出ていたご意見の、「大池・小池周辺を総称する“大池いこいの森”が、にいがた景勝100選や新潟県森林浴の森100選にも選ばれた歴史的にも素晴らしい景勝地であるにも関わらず、観光資源としての利活用が不十分ではないか」という指摘に応えるため、平成29年11月「大池・小池の観光資源としての利活用について」を自主的審議事項のテーマとして取り上げることに決定しました。

また、この自主的審議を進めるなかで住民との意見交換会や現地調査・市の担当者からの情報収集なども踏まえ、この度、「大池・小池の観光資源としての利活用について」を具現化する事業概要を取りまとめたところであります。

つきましては、当該事業を「地域を元気にするために必要な提案事業」として提案いたしますので、ご支援、ご指導をお願いいたします。

◎事業概要 別紙のとおり

◎市への具体的なお願い事項

- ・各事業実施にあたって、市担当課の主体的な取組みと支援
- ・「大池・小池の観光資源としての利活用について」の事業のために必要な運営費及び事業費の補助





平成30年10月19日

頸城区地域協議会

会長 井部 辰男

上越市長 村山 秀幸 様

Faint, illegible text in the header area, likely containing the recipient's address and contact information.

Main body of faint, illegible text, likely the content of the letter or document.

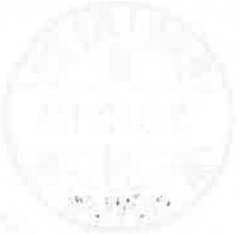
井部 辰男

井部 辰男

井部 辰男

井部 辰男

井部 辰男



事業概要書

事業名	大池・小池の観光資源としての利活用事業
事業の目的	<p>頸城区には風光明媚な大池・小池という歴史的にもすばらしい自然観光資源がある。しかし、十分な利活用がなされていない。頸城区の観光振興を通じた活性化等を図る観点から、大池・小池の施設の周辺整備を進める。</p>
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 ビジターセンターの観光施設としての利用促進 大池・小池を地域の宝として活用すべく、ビジターセンターの観光施設としての利用促進を行う。 2 大池第3キャンプ場の駐車場の拡張 大池第3キャンプ場をより使いやすい施設とするため、周囲の自然環境に配慮した駐車場の拡張を行う。 3 小池周辺の桜の整備 市内でも有数な八重桜の名所として、八重桜まつりの開催も視野に、小池周辺の桜の整備のほか周辺全体の維持管理を行う。 4 大池・小池の釣り、並びにキャンプ場利用の有料化と管理事務所の設置 大池・小池の利活用として釣りの再開、並びにキャンプ場の有効利用としての有料化を進めるとともに維持管理のための管理事務所を設置する。 5 大正山の整備 展望広場の整備、進入路・散策道の整備、通路転落防止柵の設置、駐車場の整備、眺望等（立木）の整備を行う。 6 雁金城跡周辺の整備 雁金城跡来訪者の安全確保のため、危険個所の整備を行う。

各地域協議会による「地域活性化の方向性」の作成について（お願い）

1 「地域活性化の方向性」の作成目的

地域協議会による地域の活力向上に向けた議論を進めるに当たり、委員間の認識の共有はもとより、地域協議会と市の認識の共有を図るとともに、市の取組の企画の参考としたいことから、地域において特に重視したいこと、大切にしたいことを、各地域協議会において「地域活性化の方向性」として作成するもの

- ◎用途 (1)自主的審議、元気事業、意見書、地域への働きかけの取組における、各地域協議会及び総合事務所、まちづくりセンターの共通認識
(2)市の取組の企画の参考とする考え方
- ◎作成主体 各地域協議会

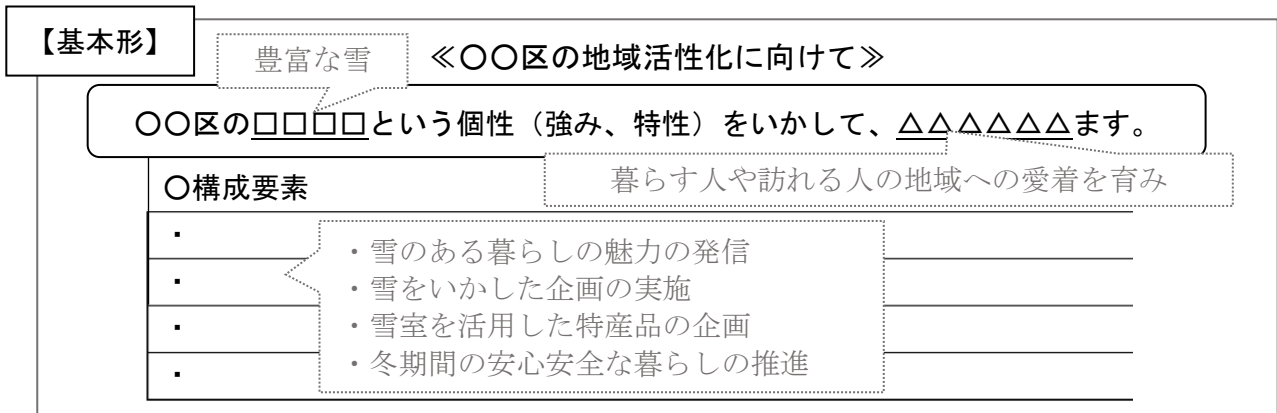
2 「地域活性化の方向性」の作成の着手時期

各地域協議会において、令和4年度に地域活性化の方向性の作成を始めるようお願いします。

3 「地域活性化の方向性」の内容

- 幅広い分野（地域資源・産業・観光・農業・自然・風土等）の中から、各区の個性や特性をいかすことで、地域の活性化につなげるもの。
- 地域の課題解消や現在の状態をさらに良くすることで、地域の活性化につながるもの。
- 方向性の構成要素は、おおむね1～5つ程度で作成願います。

※全区で作成し、市民からも見ていただくため、一定の分かりやすさを必要とすることから、構成、書きぶりについて、下記の基本形に沿って作成願います。



4 「地域活性化の方向性」の作成後の取扱い

- (1) 各地域協議会の自主的審議のテーマの選定、元気事業や意見書の内容等を制限するものとはしません。
- (2) 他の団体等が作成した既存の地域の計画等（まちづくり計画、農業振興に関する計画等）を妨げるものとはしません。※協力して取り組むことで互いが良い方向に進める事項については、積極的な連携を考えていくことが想定されます。
- (3) 地域協議会による作成とするため、市全体の方針や考え方と異なる方向性（構成要素含む）の作成も可能ですが、そのような内容とする場合は、市の一体性の確保や公益性との間で整合を図ることができないことから、その方向性に基づく取組を市が行うことは困難です。

5 「地域活性化の方向性」の作成手順 ※令和4年度に次の①②を開始

- ①各事務局から地域協議会へ作成を依頼
- ②各地域協議会で作成（例：2～4回（アイデア出し1～2回、話し合い1～2回、まとめ1回など）。会議の後半の時間などを使って）
- ③完成